

第11回上方番組大賞応募作品 審査委員コメント【番組部門】

※応募用紙を基に掲載

1 情報・バラエティ

ええトコ スペシャル 関西ふるさとの味100

製作会社：エスエスシステム 放送局：NHK大阪放送局

●継続は力なり！10年間コンセプトを大切に制作を続けたからこそできる企画。関西の郷土料理の食図鑑とも言える内容で、後日取材からも「食の継続」が感じられました。●関西にはまだまだ知らないグルメがあることを痛感。ただの総集編ではなく情報満載で飽きさせない構成でした。●番組の尺尺以上に中身の濃さを感じる1本でした。それぞれのVTRが単に町紹介と美味しそう料理インサートだけで構成されているのではなく、出会った人々、訪れた旅人も短いカットの中にちゃんと描かれていて、通常回から丁寧にロケをしているのだらうなと感じました。スタジオの使いどころも東京のゴールデンにはないバランスで、良い意味で「硬派な関西の番組」という印象を受けました。●郷土食がテンポよく沢山出てきて、関西の食の奥深さ、すそ野の広さがよく分かる楽しい構成でした。津居山の漁師家族のエピソードは涙しました。鮎をそのままかじる食し方は初めて見てかなり驚きました。●ホールでの公開収録というスペシャルらしい演出。過去の放送素材をフルに生かし、さらに地域の人たちが自慢の味をふるまうというライブ感もほのぼのした。

2 情報・バラエティ

おせっかいでスマセ〜ン！ 宮川大輔の街道てくてく

#1(東海道・大津宿〜草津宿) #2(中山道・草津宿〜守山宿)

製作会社：ジェイワークス 放送局：びわ湖放送

●出演者のフリーなやり取り全てが面白く、宮川大輔さんのロケの上手さを痛感。ナレーションなしの究極のON生かし構成が良かった。●どこまで仕込んでいるかはさて置き、キャラクター強めの地元ガイドのおじさん、地元に戻った宮川大輔さんゆかりの人々から西川貴教さんに至るまでの数々の出会いと、3人がジャンケンで決めるノリなど、ガチガチに決め込んだロケだと生まれてこない余白の作り方が絶妙でした。昨今、ナレーションとテロップでコッテリ説明したり煽ったり、見る側に想像させる余白を与えない番組が多い中、この番組はナレーションは一切なしでテロップも最小限に留めているので、見る側がしっかり見たいところ、雰囲気を楽しみたいところを自分で決められるのが心地よかったです。●宮川大輔さんが親戚や同級生と次々出会う展開が、地元感と郷土愛をよく表現していて楽しかった。ロケ先の方に最後に御礼を伝えて出てくるシーンは、尺がキツイ時はカットしがちだが、あえて入れていることで、人情味や人柄を良く表していて好感が持てました。●肩の力が抜けたカジュアル町ブラ。ハプニングも生かした自由なつくりで宮川大輔さんの人柄が伝わってくる。「街道」に行くロードムービー感も流れがあって良い。地域の人に新しい発見もあったのではないかと。

3 情報・バラエティ

買いモン食いモン楽しいモン！芸能人ファミリー春のお出かけバトル！

製作会社：ブリッジ 放送局：テレビ大阪

●問題が多彩で、設問やルールが工夫されていて面白かったです。キャスティングも被らず、純粋に番組を楽しもうとする感じが出ていて家族みんな楽しめる番組でした。丁寧に撮られたインサートもよかったです。●紹介された人気施設全てが魅力ある場所で、出演者全員が本気で楽しんでいた。「謎解き」「ピンゴ」など、全てのゲームがよく練り上げられており視聴者も楽しめた。●色々と制約があるであろう中、タレントのキャラと人気の店舗だけで押し切るのではなく、それぞれのスポットでゲーム性を持たせるなど、飽きさせない演出は興味深かったです。謎解きは一緒になって考えてみたり、ランキングも一緒に予想してみたり、ルールを複雑にすると内容が入ってこなくなるので、その辺の塩梅も良かったと思います。●出演者が8人いたが、チームごとのキャラクター分けと、謎解き、ランキング、体力ゲームなどの飽きさせない展開、緻密なカットバックの編集で楽しく観られました。●次々とゲームが展開され、家族で楽しめる。商業施設の情報も得ることができるが、少しプロモーション度が強く出ているとも感じた。

4 ドキュメンタリー

この舞に祈りを込めて 日本から伝える思い ウクライナへ

製作会社：ワイズプロジェクト 放送局：NHK BS1

●ウクライナの人たちを一方的に支援するのではなく、支援をする人・地域にも利がある取り組みが出来ることを初めて知りました。観る人もホッとできる、希望が持てる読後感があるドキュメンタリーでした。●ウクライナのために何かできることを考え、行動する針山さんに感動しました。複雑な思いで留学したバレエダンサーの密着取材を通して「平和」へのメッセージの伝え方を考えさせられました。●ニュースでは伝えきれない、戦争の裏側を知ることができました。命の危険はないものの祖国を離れて暮らす葛藤や、受け入れ側の好意だけでは乗り越えられない戸惑いなど、日常の出来事を丁寧に描き出し、大仰な演出で観る側に訴えかけるのではなく、客観的に淡々と伝える手法。テーマが重たいだけに、それが一番、作り手の思いが伝わるのだなと感服しました。●針山さんの活動やパソナグループ代表の南部氏の支援は素晴らしいですね。丁寧に取材、構成、編集だと感じました。ウクライナの彼女たちがNHKスペシャルを観て涙するシーンは心が動きました。●日本に避難してきたウクライナのバレエダンサーに密着。異文化に戸惑う日常、故郷の戦禍の心配、バレエ公演への情熱など、多角的に丁寧に描いている。ラストの公演フィナーレの2人の笑顔が秀逸。

5 情報・バラエティ

いろいろ こどもちようせんバラエティ

製作会社：ytv Nextry 放送局：読売テレビ

●関西でこのような30分のこども番組をレギュラーで制作することが、まずスゴイ。また、バラエティ豊かなコンテンツも優秀で、こども大喜利は関西らしくて期待するコーナーです。●たいいぐにいちゃんの岡崎体育さんが非常にいい味を出していると思います。関西らしさ全開の「こども番組」に新たな可能性を感じます。●「親子で楽しめる」とうたっているものの、実際は「子供が楽しんでる姿を親が見て楽しむ」番組が多いように思います。「いろいろ」もその要素はあるものの、色が変わる焼きそばや、子どもたちに大喜利のお題を出すなど、大人が見ても興味深い内容が多く、本当の意味で「親子で楽しめる」番組だと思いました。●子どもと一緒に親(大人)も楽しめる構成・演出を工夫しているなと感じました。YouTubeにハマりがちな子ども達に、地上波テレビを定着して観てもらって欲しいという気概も素晴らしいです。●全編通して子どもたちが楽しめる番組。こどもたちの好奇心を刺激して楽しく学べる工夫が散りばめられている。子供に大喜利をさせたのが面白い。

6 情報・バラエティ

アブダンティアの風 事業承継応援バラエティ

製作会社：ダイズ 放送局：毎日放送

●風間さんと若新さんのコメント、スピード感がとてもいい。紹介VTRが厚くなくても、お二人のトークがメインとして成立する繊細なケースで素晴らしいキャスティング。後半の失敗例は無い方がよかったですと感じました。●事業を引き継いで変わっていくことの重要性、成功の鍵と苦労話は興味深かった。「継承」と「承継」の違いについて深い話が聞けた。●少々お勉強系の匂いがする入り口から、新世界のミックスジュースという柔らかい掴みで一気に最後まで見えました。「承継問題」という報道ドキュメント、バラエティでも古くから取り上げられてきた題材ではあるが、ここを切り口に番組を1本作ってしまうという発想はなかった。見せ方のパリエーションも豊富で可能性を感じる番組でした。●事業承継応援をバラエティとして見せていく発想が面白い。スタジオセットではなくカフェのスペースで座り位置を工夫し、演者にタブレットを持たせて情報を見てもらうなど、リラックスした空気が生み出されている。

第11回上方番組大賞応募作品 審査委員コメント【番組部門】

7

情報・バラエティ

京都マラソン2023 コース周辺はうまいモンだらけ!? マワラナソン!

製作会社：ダイズ 放送局：毎日放送

●フルマラソン初挑戦の様子とコースの見所、沿道のグルメ紹介という構成で京都マラソンの魅力を楽しむことができる秀逸な企画。スポーツ・情報・グルメをいい塩梅にまとめ上げた演出が光ります。●マラソンコースのグルメ情報紹介という斬新な企画。2つの番組を同時に見ているような得した気分になり、改めて京都の良さを再確認できる、新しいマラソン番組でした! ●「マラソンコースから一步踏み入れた場所に広がる路地裏の世界」という着想は面白かったです。どのお店の料理も美味しそうで、リポーターのキャラクターと相まって最後まで楽しく拝見しました。軸となるマラソンにもっと尺を使いたいところだと思いますが、そこを堪えた結果、全体を通して飽きのこない演出ができたのではないかと思います。●マラソンのドキュメンタリーとグルメ部分が、コースの流れに沿って紹介される構成は見やすく、バランスも良かった。料理インサートがシズル感があり、クオリティが高かった。ゴール後の涙は定番ではあるが、爽やかに好感が持てた。●マラソンを縦軸に、コース沿いの路地の隠れ家スポットを紹介するという京都だからこそできるような企画。京都の風景が堪能できる。京都を走る一般ランナーの声も少し聞きたかった。

8

情報・バラエティ

西乃風ブラン堂

製作会社：MBS企画 放送局：毎日放送

●人気の観光スポット「はちまんかまど」ですが、その仕掛け人やお守り作り、移住してきた海女さんなど、掘り下げた話題があり、この番組のコンセプトらしい内容だと感じました。レポートも落ち着いていてよかったです。●三重県伊勢志摩のグルメ情報と、「海女文化」の問題点をわかりやすく取材。海女文化を世界に発信する重要性を感じました。●旅番組や情報番組でよく取り上げられる海女さんや海女小屋。その背景は意外と目にするのがなかったように思います。感傷的にならず客観的事実としての描き方に好感を持ちました。細かい演出ですが、クイズのシンキングタイムは「この手があったか!」と思わず膝を打ちました。●90歳~43歳まで海女さんの現状を描くことで、地方再生と事業承継の難しさ・希望の両面がよく伝わり面白かった。実は日本全体が抱える深く重いテーマだが、バランスが良い構成とクイズ形式でポップに楽しめました。●伊勢志摩の海女にスポットをあてて、取材VTRとスタジオ展開で見せるオーソドックスな構成。地域で活性化のために汗をかく人々を取り上げている。

9

情報・バラエティ

新春開運!!富士山ぐるっと一周ウォーク

製作会社：放送映画製作所 放送局：NHK大阪放送局

●タイトル通り、家に居ながら富士山を一周してご利益・知識・情報・旅情が得られる作品。自分が歩いているかのような映像を基本とし、三浦さんと広瀬さんの親子のようなほんわかとしたナビゲーションも秀逸でした。●静岡県と山梨県から見た富士山の魅力が詰まった情報でした! 三浦友和さんと広瀬アリスさんの掛け合いが秀逸で、長尺ながら飽きさせない演出が光っていました。●あらゆる角度から撮影された富士山と、富士山を取り巻く環境。美しい映像の数々はまるで絵画。ただ今作はそれに留まらず、富士山に魅せられた人々を丁寧に取材し、あらゆる視点から富士山の魅力を語り尽くす。富士山を知る上で、決して見逃してはならない番組だと思いました。●千変万化の富士山は、ずーっと観ていたい気持ちになります。あっという間の100分でした。映像のスケール感、ダイナミックさ、雄大さに見惚れました。三浦さん広瀬さんのアドリブの様な掛け合いナレーションも親しみやすくて良かったです。●圧倒的な富士山の映像美。新春スペシャルの王道。三浦友和さんと広瀬アリスさんのキャスティングが豪華。ただ、ナレーションに入るかけあいセリフがほく感じるところがあった。

10

情報・バラエティ

アキナのギャルしか勝たん ギャルの力で世界を変えよう 今まで見たことないスーパーギャルへの道

製作会社：よしもとブロードエンタテインメント 放送局：毎日放送

●自己表現を極めた人格が「ギャル」。どのような事でも極めた人には人を引き付ける力を秘めている事を再認識させてもらえる番組。アキナのギャルたちへのやさしさがあるツッコミも好印象です。●弓道に挑戦するギャルのひたむきさ、素直さ、真面目に取り組む姿勢がよかった。ギャルの新たな一面が知れるVTRで元気をもらえました。●まずは、ギャルという入り口に先入観を持って見てしまい反省。いい意味で裏切られました。ギャルを面白おかしく見せるのではなく、一つの目標に向かって汗をかくて涙を流し、その懸命な姿を応援する仲間たち。ある意味王道の青春バラエティーでした。ちゃんとオチがついているところに作り手の姿勢が見えました。●ギャル×弓道の意外性が面白かった。周りを巻き込み盛り上げる超ポジティブなギャルのパワーに感服しました。道場の裏に呼び出して、「踊りたい」のシーンは爆笑しました。●ギャルが弓道に挑戦というハラハラ感のある企画。あまりの賑やかさにタジタジです。

11

情報・バラエティ

どこでもミルクボーイ ミルクボーイゲームラボ

製作会社：よしもとブロードエンタテインメント 放送局：eo光チャンネル

●里村さんの存在あっての企画。番組の人気シリーズともなるし、揃っていない8タイトルを搜して集めるサイド企画も面白そう。YouTube配信、イベントなどいろんな広がりがあるのもよい。●ファミコンを知らない世代にとって、ファミコンのゲーム内容が受けている? という、昭和と令和世代の融合の可能性を感じた内容でした。●ゲームは詳しくないのですが、最後まで楽しく拝見しました。ひたすら懐かしいゲームで遊ぶという潔さ! ゲームそのものが面白いので、この見せ方が正解だと思いました。好きな人ならいつでも見られる作品ですね。●マニアのお宅訪問的な面白さはあったが、ゲームに興味が無い者としてはマニアックすぎてついていけなかった。地上波ではないので、とことんマニアックに攻めていて配信系コンテンツの未来の可能性を感じました。●テレビ初公開の放送作家サトムラさんの自宅ゲームラボ。圧倒的なコレクションとゲームの知識にミルクボーイとともに引き込まれる。自然体で心底ゲームを楽しんでいるミルクボーイが微笑ましい。

12

情報・バラエティ

ミキBASE いいね!で応援

製作会社：よしもとブロードエンタテインメント 放送局：毎日放送

●トークだけで納得させたり、笑わせたりする企画は視聴者もジャッジマンになって観れておもしろい。途中で意見が変わるキッカケになる仕掛けがいくつかあれば、もっと盛り上がって観れそうな気がしました。●やはり賛否両論をトークするのは面白い! と再確認できました。さや香、石井さんの関西のロケ番組への提言がおもしろかった! ●関西で今一番熱い若手~中堅のお笑い芸人が集い、笑いを狙わず大真面目に提言している…のにちゃんと笑える。話芸の優れた人の熱のこもったトークはいつまでも聞けるな~と思いました。芸人の熱い思いを邪魔しない演出というものもあるんだな。●若手芸人が沢山集まって、アホな話を真面目に熱くするトークは面白いですね。採用されるとYouTube配信というご褒美も今どきいいな。視聴者の意見を聞きたいから採用に転じる展開もいいなと思いました。●世直ししたい芸人を応援という企画。若手芸人たちの全力絶叫トークを堪能して、彼らのエネルギーを感じることができる。

第11回上方番組大賞応募作品 審査委員コメント【番組部門】

1 3 情報・バラエティ

ゴエと忠志のDEEP関西

忠志の地元！大阪・箕面のDEEPに迫る！

製作会社：よしもとブロードエンタテインメント 放送局：eo光チャンネル

●ゴエさんと忠志さんの人柄が繋いだ長寿番組だと感じました。この雰囲気のまま10年、20年と続いて、歳を重ねたお二人のロケを観てみたいです。
●地元を紹介する忠志さんがゴエさんにお墓を紹介するシーンはすごい映像でしたが全体を通して二人の関係性が映像からとてもよく表れていました。
●最初に、このお二人でロケに行く番組を考案された方に拍手を送りたい気持ちです。天然のお坊っちゃんキャラ・西川忠志さんの泳がせ方、それに対する浅越ゴエさんのツッコミには品を感じます。単にスポットや情報を詰め込み過ぎでない構成に、お二人のコンビネーションが活かされていると思いました。●忠志さんのピアノのオープニング、最後のゴエさんへの手紙も真面目で誠実な人柄がよく出ていて好感が持てました。地元愛が深くて熱い「DEEPさん」という演出が分かりやすく面白く、これが長く続く理由かなと思いました。●箕面の魅力を伝える企画。MC自らが案内人となるスペシャル回。番組のファン以外は少しついていけない面もあるか。

1 4 ドキュメンタリー

新日本風土記 京都・命の水

製作会社：ダイメディア 放送局：NHK BSプレミアム

●京都にある命の水。絶えることなく流れるその水の先に老若男女、京に住まう人の営み・人生がみえる秀作。●京都と水の関係を、その地域の人の生活を追うことで京都の水事情がより理解できた。「水」がそこにあったから、この人の人生があったのだと考えさせられる秀作。●ディレクターとしては、たとえ2分のVTRでも2時間の特番でも、全てのカットに意味があって繋いでいるハズなのですが、実際は「やむを得なく」という場合も多いと思います。この作品は事前のカット割、編集でのチョイス全てにおいてハッキリした意味と意図を持って仕上げられているな～と感服しました。
●京都の水を巡る様々な人間模様を丹念に取材して大変見応えがありました。「光を京都に広めたのは水だった」というテロップから蹴上発電所に行く流れなど随所随所流れるくらい上手いと思わせる演出が光っていました。●京都の水をテーマに、季節ごとの情景・人々の営みが丁寧に撮影され描かれている。複数のナレーターで表現も豊か。特に音の要素が全編通して素晴らしい。エンディングの子どもの生き生きとした泳ぎ姿も前向きでいい。

1 5 情報・バラエティ

発見！“なにワザ” ～すんゴイ技術のオモろい使い方～

製作会社：ダイメディア 放送局：NHK放送局

●画期的な技術が大企業ではなく、身近な所・身近な視点から生まれているというテーマがおもしろい。クイズなのに正解がなかったり、すべて不正解なども、井上さん・西森さんの関係性を生かした展開で良かったです。●関西人であることが誇らしい気持ちになれる「すごいワザ」の連続で楽しめた！開発秘話や、その開発のおかげで影響があった人達まで丁寧に取材されており、関西らしく元気がもらえる作品だと思います。●特化した技術から広がる世界、こんなところにこんな技術が使われているんだというまさに「発見」はとても興味深かったです。さらに、その技術の凄さを伝えるための撮影プランやテックワークは圧巻でした。●画鋲の針に穴を開ける技術がマジックに生かされていたり、ハスの葉からヒントを得た超はっ水素材がヨーグルトの蓋に生かされていたり、中小企業の技術が「へえ～」と思える身近なところと繋がっているのが面白かったです。●関西の町工場のすぐれた技術をわかりやすく楽しく、時にヒューマンに伝えていく。クイズも工夫がされていて、世代を問わず興味を持てる番組。

1 6 ドキュメンタリー

ダイドグループ 日本の祭り

息吹く夏 尼崎・貴布禰神社だんじり祭

製作会社：MBS企画 放送局：毎日放送

●祭りとなると年配の方が主人公になることが多いが、小学生をはじめ若い人にフォーカスし、若い世代へ連綿と受け継がれる様子が生き生きと描かれていた。荒々しさの中で育つ優しさや思いやりも見えてよかった。●4年ぶり開催の伝統の夏祭りに賭ける熱い想い。大迫力の「山合わせ」は、それぞれの表情をカメラが捉えていて素晴らしい。頼もしい未来の曳き手たちの姿が印象的で、祭りの魅力が伝わりました。●時間と労力を費やし、祭りにかける人々に入り込んだ力作。取材対象者と、どこまで距離を縮めるのか？難しい局面もあったのではないかと想像します。過剰な演出を控えることにより、リアルな熱量が伝わってくる作品になっていると思います。●山合わせは大迫力！だんじりが滑走する映像は観ていてワクワクしますね。祭りに関わる人々の熱さが丁寧に描けていると思いました。畑中ふうさんの時々入る大阪弁のナレーションも生きていました。●夏祭りに情熱を注ぐ下町の人たちの姿が描かれている。地域の人と人とのつながりが感じられる。山合わせの映像の迫力は秀逸。

1 7 情報・バラエティ

発見! 仰天!!プレミアムモン!!!土曜はダメよ!

製作会社：レジスタエックスワン 放送局：読売テレビ

●土ダメの企画はどれも絶妙にちょっとズレていて、どんな展開になるのかつい観てしまう。クイズに正解がなくとも成立させてしまう出演者とそこにプチ込むスタッフの信頼関係があったのが長寿番組だと感じました。●人気レギュラー番組の特番ということで楽しめました。放送開始当初の、昔の映像はやはり面白い。企画も良く、長寿人気番組である理由がよく分かりました。●もはや内容を云々言うのはおこがましい、人気長寿番組。ヒット企画も数々あり、演者の座組の良さ、演者とスタッフとの信頼関係も見ているだけで伝わります。今作はスタジオ観覧ありの20周年特番。コロナ禍の影響で忘れられかけていた、関西のスタジオバラエティにとって、客入れが切っても切れない重要な要素であることを改めて証明していただきました。●20周年SPが豪華ゲストではなく、ゴエさんとヤナギボンファミリーというのが、サイコバラエティの「土ダメ」の真骨頂でいいなと思いました。客入れましたお客さんと共にピンゴで盛り上がるなど、関西らしい温かい演出が好感が持てました。●番組20周年の企画。観覧者と視聴者も巻き込んでピンゴゲームを行うお祭りが楽しい。ただ、少しピンゴゲームが長かった感じもする。

1 8 情報・バラエティ

ドッキリで恩返し！サプライズメッセンジャー！

①～閉店するインド料理店 名物店長との23年間～ありがとうパープ
②～弟から天国の兄へ届け～ 季節外れの大花火

製作会社：メディアプルポ 放送局：関西テレビ

●一番思いを伝えたい人に気づかれぬように準備し、構成するのが大変だっと思います。準備やロケに時間が掛けられれば、さらにいい作品になると期待します。VTRをパッケージにして紹介する演出が良かったです。●恩返しをしたい人への「熱い想い」とは何か？今の日本に忘れかけている「何か」を考えさせてくれる、心温まるストーリーでした。●一般の方を取材対象とする際も、基本的には想定台本があると思います。出演者がタレントではない分、想定通りいかないことは多々あります。後半の花火師の兄弟は想定を超える映像が撮影できたのではないのでしょうか？当然のことながら、それは偶発的なことではなく、取材対象者とリポーター、ディレクターが作り上げた関係性や取材対象者のポテンシャルを最大限に引き出す環境作りが必要です。それを見事に成功させた作品だと思います。●天国の兄への感謝の花火は号泣しました。山下達郎の曲がさらに感情を高めてくれる見事な演出でした。パープさんの恩返しサプライズも感動しましたが、「閉店セール開催中」のテロップが、残念でした。●「テレビの力」を生かした心温まる企画。テレビで非日常の舞台を設定することで、たくさんの人を巻き込み、普段では可視化されない人情が鮮やかに伝えられ、人々の共感を呼ぶ。

第11回上方番組大賞応募作品 審査委員コメント【番組部門】

1 9 情報・バラエティ

音いたち ゲスト ベリーグッドマン

製作会社：メディアプルボ 放送局：関西テレビ

●関西で一組のアーティストのお話しがじっくりと聞ける音楽番組は貴重。MVのブロックもナレーションはなく最低限のテロップ情報だけで音楽をしっかりと聴ける構成も音楽ファーストでいいと思いました。●ベリーグッドマンの甲子園に賭ける思いなど、肩の力を抜いて、笑いを交えながら自然に語れるのが、関西らしい音楽番組だと感じました。●非常に丁寧にトーク編集をされているな、という印象でした。出演者の間やテンポ感を活かしつつも、伝えたいことの軸がズレていない。現場の演出との呼吸も合っているから、いかにも編集しましたという感じになっていないのだと思います。●著作権まで全て担っているコンテンツ制作は素晴らしいですね。阪神ファンのちっぴー×ベリーグッドマン×甲子園という親和性の高いキャスティング&テーマで、トークが盛り上がり、最後まで面白く楽しめました。●トークの時間がたっぷり取られているのでアーティストの素顔、魅力がよく伝わる。

2 0 ドキュメンタリー

LIFE～夢のカタチ～ 茶源郷 和束町の農家民宿

製作会社：エー・ビー・シー リブラ 放送局：朝日放送テレビ

●ご夫婦の魅力がナレーションではなく、ご自身やお友達のコメントや表情、雰囲気から感じられる所が良かったです。移住者の方が将来を憂う和束町はどうなっていくのか、今後の物語を観てみたいと思いました。●民宿のご夫婦の魅力が伝わりました。自然が素晴らしい京都和束町。移住者を受け入れてくれる地元の人々の優しさも感じられた。●ドローン撮影を始めとする和束町の実景と料理インサートの美しさが印象的でした。第二の人生として憧れる穏やかな里山の生活を美しいインサートで描くことによって、過疎化の進む田舎という表裏一体の現実をより際立たせることに成功した作品だと思います。●地方への移住に関しては様々な問題があると聞きますが、齋藤さんご夫妻と街との相性が良いのですね。お二人の人物が素晴らしいからですね。老後のライフスタイルの新しい形だと感じました。茶畑や星空など美しい映像も楽しめました。●日本の里山にインバウンド観光客が訪れている今時の事象がよくわかる。心尽くしでもてなす農家民宿の老夫婦が生き生きとしている。和束町の魅力と課題も描かれている。

2 1 ドキュメンタリー

LIFE～夢のカタチ～ 琵琶湖漁師～フィッシャーアーキテクト～

製作会社：エー・ビー・シー リブラ 放送局：朝日放送テレビ

●単に若い方が漁師になるのではなく、若いからこそその発想・枠組み・アプローチが見えて良かったです。そんな方だけに、もう少しここまで至る個人の部分が描ければ、もっと感じるものが多くなったように思いました。●建築の勉強をしていたのに、なぜ漁師の道を目指したのか？その理由と琵琶湖の湖魚への思い、漁師の枠を超えた活動を応援したくなりました！●不漁というネガティブな入り口から伝統漁法を守る難しさをテーマに据えていると思わせてからの、それにくじけない主人公のたくましさでクレバーさで、新しい漁師の形を見出していくというポジティブな展開が最後まで興味深かったです。●駒井さんの生真面目で誠実な人柄がよく描けています。「漁師による琵琶湖の景観作り」という生き方が素敵だなと思いました。ディレクターは初めての担当とのことですが丁寧に取材が来ているなと思いました。●琵琶湖の若手漁師が新しい取り組みに奮闘する姿が描かれている。主人公の情熱と人柄が伝わるとともに、琵琶湖の恵の豊かさも再認識できる。

2 2 情報・バラエティ

おはよう朝日土曜日です ドどんと！新春特番 今年どーする？みてみて

放送局：朝日放送テレビ 製作会社：エー・ビー・シー リブラ

●関西の朝のテレビと言えば「おは朝」。安定のチームワークで年始に親戚が集まったような賑やかで楽しい雰囲気の内容でした。元気に一日をスタートできるように50年、60年と続いて欲しい番組です。●人気レギュラー番組の特番らしく、海外ロケから国内ジブリパークのマニアックな紹介。中継やマジックまで、贅沢で盛りだくさんの企画で楽しめる内容でした！●VTR、中継、スタジオ展開全てにおいて、さすがの安定感でした。とは言え、スタジオと中継は生放送らしいハプニングもあり、そのハプニングもスタジオの出演者が落ち着いて楽しんでいる雰囲気が、さすが41年続く老舗番組だと思いました。●オーストラリア・ケアンズの旅やジブリパーク、スタジオのマジックなどバラエティにとんだ展開で楽しく拝見しましたが、総花的な感じは否めませんでした。せっかく41年で初の特番というなら番組全体を貫くテーマがあったらもっと良かったのではと思いました。●朝のローカル情報番組の新春特番の王道。中継先のウサギを縦軸で引っ張りながら、海外ロケなどの豪華な企画を盛り込んでいる。

第11回上方番組大賞応募作品 審査委員コメント 【短編・コーナー部門】

1 情報・バラエティ

発見！仰天！！プレミアムもん!!! 土曜はダメよ！ 犬クイズ！ワンダフルネーム たぶん当たらんワン！

放送局：読売テレビ 製作会社：レジスタエックスワン

●このコーナーがすごいと思う所は…クイズなのに答えは当たらずにいい。・飼い主さんはペットのことならどんでん返しやべ。という点。ディレクターの話方、目線もやさしくて、関西ならではの秀逸な企画。●犬の可愛さはもちろん、飼い主の人柄や育て方の苦労話なども丁寧に取材されており、ただの問題VTRで終わらない作品になっていたと思います。●スタジオの出演者がどこでどんなリアクションをするか？計算した上で、ナレーションやコメントのつながりにちゃんと間を作っているな～と。逆に言うと、「ここでリアクションくださいね」というメッセージでもあり、さすが老舗番組の完成度だと思いました。●絶対に当てられない答えを、あえてクイズにしているそのシュールさが面白い。服も高級、食事も美味しく、まさに家族同然で生活している飼い主の犬への愛しさがよく出ていました。●犬の名前をあてるクイズというシンプルな企画。犬の姿はふんだんに見られるが、飼い主の表情がほとんどない。犬好き以外の人には興味が沸かないかもしれない。

第11回上方番組大賞応募作品 審査委員コメント 【短編・コーナー部門】

2

情報・バラエティ

桂文枝の全国の首長さんに逢いたい！ 北海道・北広島市編 製作会社：よしもとブロードエンタテインメント 放送局：BSよしもと

●首長さんのインタビューを軸としたトークバラエティが成立するとは、さすが文枝師匠。知らない町の歴史や見所も知る事ができ、ゆったりした師匠の語り口も話しを理解するのにちょうどよいと思いました。●「新球場」誘致の真相が、市長から自然に聞けました。桂文枝師匠独特の話の引き出し方ならではのと思いました。●さすが文枝師匠！というトーク展開で、固くなりすぎず楽しく見れる番組になっていると思います。収録現場の口ケーションもスタジオや役所の応接室では、この柔らかい雰囲気は演出できないので単純な事かもしれませんが改めて大切だな～と思いました。●全国区の知名度の文枝師匠ならではの企画ですね。80歳の文枝師匠が変わらず元気で、市長のトークを食い気味で話しているのが、勢いがあり流石だなと思いました。●桂文枝さんがエスコンフィールドをレポートし北広島市長と対談。内容の濃い対談となっている。市長の背越しになっている画角は気になった。大御所がインタビュワーであってやはりインタビュイーの表情を見せたい。

3

情報・バラエティ

**素朴なギモンを徹底調査 ほんなら調べました！
街のほんなら調べてみました!! アカペラサークルのギモン調査編** 製作会社：レジスタエックスワン 放送局：毎日放送

●どうでもいいし、結果を知ったとてすぐに忘れるような事をやってみる。それを一生懸命やるという関西ならではの番組ですが、その構成と編集は難しい。中でもそれを短時間にまとめたこのVTRは「おもしろい！」●これぞ関西人ならではのバカバカしくも素敵な企画&演出だと思います！合唱団の方の協力も作り手の熱意が感じられたからこそだと思います。●バカバカしくて、めっちゃ面白かったです。バカバカしいことを真面目に実践するという試みは検証番組の要。「怒りをハモったら…」という発想の段階でこのVTRは面白い事が確定しました。●バカバカしくて大笑いしました！「よく分からずに引き受けてしまったと…」とちょっと後悔しているコメントにも爆笑！面白かったです。●怒鳴り声にハモってもキレイに聞こえるかというおもしろ検証企画。奮闘ぶりは面白かったが、ハモリの結果は微妙だった。プロのきれいなハーモニーを聞かせるところがもう少しあってもよかった。

4

情報・バラエティ

DAIGOも台所 きょうの献立何にする？ 製作会社：レジスタエックスワン 放送局：朝日放送テレビ

●この枠の新番組は大変だったと思います。その1周年企画はDAIGOさんを支えるスタッフ、先生方のやさしさを感じる内容でした。関西発の新たな長寿番組となるよう応援しています。●料理初心者だったDAIGOさんの成長ぶりが微笑ましく、ますます応援したくなりました。●料理に不慣れな人の調理に先生が手を出さないという料理番組は画期的ですね。得意な人が作る料理は美味しいに決まっていますが、それを不慣れな人が真似してどこまで近づけるか？常々疑問かと思っていましたが、DAIGOさんが作って美味しいなら、誰が作ってもきつと美味しくできる、そう思わせてくれるので、ある意味最も信頼できる料理番組かもしれません。●1年前のレシピを再度挑戦するという企画が、DAIGOさんの成長がよく分かり面白かった。最後の洗い物や、2年目の目標で「娘のお弁当を一人で作る」などのコメントが好感が持てて良かった。●番組1周年で、DAIGOさんの料理の腕の成長ぶりがかがえる。継続性のあるレギュラー番組こそこの企画。料理番組を共感を呼べるエンターテインメントに昇華させている。

5

情報・バラエティ

あれみた？ 元公安と街ブラ 製作会社：レジスタエックスワン 放送局：毎日放送
※放送後YouTube配信

●お断りテロップが何度も入る内容を取り上げ挑戦的。元公安の方だけだとドキュメンタリー寄りになる所を、YouTuberをキャスティングすることで、楽しくポップに構成されているのもよかった。●街を歩いているだけなのに、元公安警察の見解が面白く、興味深く見れました。●ドラマや映画で描かれる裏社会の話は、怖いけど知りたい。トークだけでも聞き耳を立てるエピソードの数々を、街ブラしながら紹介することにより、立体的にイメージされ、よりリアルに感じることができました。●短いコンテンツを量産して、地上波、配信、SNSと展開する実験的な試みが良い。YouTubeではありえるコンプライアンス的にギリギリのネタも地上波向けに上手く編集しているなと思いました。●元公安と都市伝説YouTuberと街ブラという怪しさ満載の企画。エンタメとして消化しながらも、注意喚起にもなっている。

情報・バラエティ

6 **ビスブラのシネマここだけの話 東映「怪怪島／きかいじま」** 製作会社：メディアブルポ 放送局：関西テレビ

●映画とコントをどのように関連付けるか、資料にもあるようにご本人との打ち合わせを始め多くの時間をかけるなど、制作陣のこだわりが感じられ、ミニ枠なのにもう一度観たくなる番組でした。●映画紹介の新しい形の見せ方で、どこかオシャレに感じました。ビスブラやコント好きにはたまらない番組だと思います。●映画を紹介することが第一義の番組なので、バスケットブラザーズのコントしか印象に残らないようでは駄目だし、かと言って、抜きだけ流せば良いやん！と言われるほど控えめにコントを見せても駄目。そのあたりのさじ加減が絶妙でした。●映画のPRを押しつけがましくなく、今、旬の芸人×ミニマムにそぎ落とした美術のコントで対比させて、シンプルに上手く構成しているなと感じました。●コントで映画紹介。ホラー映画というだけで避ける人もいるが、ビスブラさんの面白さでつい見てしまう。



第11回上方番組大賞応募作品 審査委員コメント【新人部門】

- 1 岩本 一美 いわもと かずみ**
発見！！食遺産 #あなたのレシピ 残させてください 情報・バラエティ 所属：ジェイワークス 放送局：テレビ大阪
- 料理も美味しく、町などのインサートもこだわって撮影して、出演者同士や出会った人との会話もいい所を残しているように思いました。ナレーションの言葉選びの力が付けば、さらに良くなると感じました。●安定感ある作りで、丁寧に制作されていると感じる。ただサラッとみられる分、印象は薄く、演出的なフックがほしいと思った。●レポーター2人の組み合わせが良い。食べ方が上品で、本当においしそうに見える。もう少しじっくり見たい聞きたいという不満は残ると、予定調和に見える点をもっと少し解消できれば…と感じました。●石田靖さんと真飛聖さんの、はつらつとした雰囲気がとても印象的で、楽しい現場作りができていたのだと思う。日本の食遺産お米の魅力、おいしさが伝わってきた。みたらし豚丼ためして食べたくなりました。トラクターのGoPro真飛さんの表情が良かった。●93歳の玉土さんが作るごはんのお供が日々を丁寧に生きられているそのお人柄を表していて心惹かれた。朝来市のみなさんのあたたかい触れ合い、みたらし団子の美味しそうな豚丼の流れまでしっかりとまとまっていた。
- 2 菅原 優美 すがはら ゆうみ**
かんさい情報ネットten. アナタの味方！お役に立ちます！ 情報・バラエティ 所属：ブリッジ 放送局：読売テレビ
- 「豪邸の開かずの金庫」がテーマとなれば縦軸は万全ですが、開くまでの広がり、何もなかった時の事も考え、構成されていると思いました。欲を言えばVTRの最後のまとめ方にももう少し工夫が欲しいと感じました。●視聴者を引っ張れる構成とアドリブを交えながら、丁寧な情報処理で安心して見ることができた。次作にも期待したい。●まず、こずられている感がある企画を相原さんがコメントで救っていたのが好印象。企画としては絵面が変化しない地味な企画なので、苦労した面はうかがえるが、何か新しい演出が欲しかった。●お役に立ちますの名物企画になっていると思いますが、いつもに増してワクワクして見入ってしまいました。途中、スイーツを食べる演出がほっこりしてワクワク感の緩急になったと思います。もし、すごい高価なお宝が出てきたらどのような演出をするか見てみたい。●金庫の鍵のイラストも効果的で、オリンピック（ロールケーキ）を休憩中に食べたり、緊張と遊びがあって面白かった。金庫が開くまで細かく段取りを踏みながらも流れを壊さず最後まで期待感を持って見ることができた。
- 3 都志 爽太 つし そうた**
よ〜いドン！ ロザンのうんちくん 情報・バラエティ 所属：ダイズ 放送局：関西テレビ
- うんちくんの取捨選択、並べ方、説明インサートとバランスよく構成されていたと思います。五大力道場の見せ方、演者の立ち回りなどは、唯一醍醐寺から離れたシーンなので、検討の余地があったのではないかと感じました。●レギュラー企画ではあるが、楽しみながら知識を得られる内容で分かりやすかった。次回は、当人のオリジナル企画を見てみたい。●いかにもロザンをレポーターに用いた企画といった感じ。コンセプトだから仕方ないが、3人の絵面がまず地味に感じてしまった。しかし、難しい内容をロザンらしい切り口で、朝の番組のテイストに仕上げている。●歴史に疎く、最初は取っ付きにくいかなと思っていましたが、すっかり醍醐寺ツウになりました。住職のニもよく、おしゃべりがうまいところもうまく引き出せていて、より分かりやすく説明ができていたと思います。醍醐寺のうんちく、ロザン二人がかなり生き活きとロケしていたように思う。お寺の部長仲田さんとのトークも弾んでいてクイズもよく練られており、面白かった。事前のリサーチをしっかりと取り組んだからこそだと思う。
- 4 戸田 千遥 とだ ちはる**
あばれる先生の出張授業 ～知って楽しい世界遺産～ 情報・バラエティ 所属：クラッチ 放送局：テレビ大阪
- コロナ禍で距離を確保しなければならない。撮影場所が教室だけに限られた中、タブレットやモニター、〇×クイズなど、構成に工夫が感じられました。授業後の児童たちの感想をもう少し聞きたいと思いました。●コンセプトがはっきりしていたので、見やすかった。メッセージもしっかり打ち出せていたと思う。ただ、最後のまとめのナレーションは、本人からのコメントにしてほしい。●あばれる先生が授業中に何度も資料を見ていたのが、気になった。できたら、授業資料を自分で作っていたり苦労している部分が演出として欲しかった。制作スタッフが協力しているのが透けて見えてしまった。●さすがあばれる君、人気者だけあって子供の気持ちをすぐ掴んでいた。私も世界遺産に興味がありました。数にも驚き勉強になりました。クイズ形式で子供の参加意識をかきたてる演出、実際の授業でも友好的だと思います。子供の笑顔がマスク越しでもとても楽しげだったのが印象に残りました。●一般の子供達を相手にロケするのは集中も切れたりどんなことをいうか読めない所もあって難しいが、みんなが積極的に楽しんで授業に参加していた。抜かりない準備の賜物だ。テロップも工夫して分かりやすかった。
- 5 野尻野 翼 のじりの つばさ**
本日はダイアンなり！ シーズン2 庄内編 情報・バラエティ 所属：クリエイティブ・ジョーズ 朝日放送テレビ
- ダイアンだからこそできる町の人達との会話について見入ってしまいました。テロップも少なめで、ゆったりとした雰囲気も魅力。名言を探す！がテーマならば、後半も何気ない名言を見たかったです。●ダイアンのキャラはよく出ているものの、「名言」の刈り取り、それに因んだ企画の発展はしてほしかった。●庄内の下町感を、ダイアンの二人が人々との会話を通して醸し出す前半。個性的な店を訪問する中盤以降、そして突然の悩み相談。バラバラにみえる内容を、ダイアンという個性がうまくまとめあげている。豪華なPR番組。●ダイアンの人懐っこさと大阪の商店街ならではの人情豊かな人々、何気ない名言にほっこりしました。ダイアンに引きがあるのか、ディレクターなのか庄内を歩くだけで充分良い時間番組になっています。カレーサンドの店は応援したくなりました。●ダイアンが庄内を歩くだけでいろいろな笑いが生まれて関西らしい番組。鰻をいただいた魚屋さんのおしゃべりはずっと聞いていられるし、会おうじいさんのキャラがどの方も抜群で、現場の空気感の良さが伝わった。
- 6 岡田 凌 おかだ りょう**
DAIGOも台所 きょうの献立 何にする？ 潜入！DAIGOも台所 in 辻調 情報・バラエティ 所属：レジスタエックスワン 放送局：朝日放送テレビ
- レギュラーのスタジオ収録とは違った構成・演出が必要な中、短い時間に簡単レシピ、学校探訪などうまくまとまっていて、出演者の皆さんのやさしさも伝わる内容でした。今後も番外編が楽しみです。●辻調への配慮を含め、一定のクオリティには達していると思われますが、視聴者的にはもう少し料理の情報欲しかった。●理事長や教員の顔出し等、演出としては是非物があったのだろうか、かなり苦労した点が見受けられるが、無理なくまとめている。DAIGOさんが材料をいれている容器が半透明で中身が見えにくいのがかなり気になりました。●いつもスタジオでやってる番組がロケになってDAIGOさんのフランクさがより出て面白かった、たまにロケに出るのもよいと思った。調理師学校の学長に突然会いに行く演出を料理の合間に行っているのがおもしろかった。●立派なキッチンで包丁も使わない超簡単料理を作るというギャップが面白い。レンジで8分待っている間、ダンディーなのにギャグ満載な校長とのトーク展開、最終試食にいたるまでしっかりとまとまっていて見やすかった。
- 7 山本 さつき やまもと さつき**
バクバクasmiちゃん 情報・バラエティ 所属：メディアブルポ 放送局：関西テレビ
- asmiさんのほんわかとしたキャラクターが生きて、ゆったりとした編集がよい。食リポで食べてから感想を言うまでノーカットでいくのは勇気がいると思いますが、このテンポがこの番組の魅力だと思いました。●出演者の魅力をよく引き出していると思います。画撮りも丁寧。良い意味でのゆるさが深夜には合っている。欲を言えば、ネタ選びに深みがほしい。●スタッフの笑い声は少し気になる。シャボン玉の写真は、期待値が高かっただけにテレビではうまく伝わっていない気もしました。本人の曲を使えるのは最大のメリット。選曲も自分でしてもらおう等があるもおもしろい。●映え写真の切り取り方が女性ならではのよかった、深夜、肩ひじ張らずにまったりと見れる若手の力を発揮できる番組だと思う。新潟行きとなりました。Asmiちゃんの衣装は自前なのかな、一番映えていたと思う？●asmiちゃんが新潟旅を楽しんでいる自然体の姿を引き出しているのはロケの空気感がいいからだと思う。ディレクターは編集だけでなく演者の魅力を引き出せることも大きな力。3年目という事でこれからも楽しみ。